

支那書展覧の品物

相岸定くまゝ取り扱

目次「支那書」記

生原書

大松文房

と西記名を記

四十才外「三四」

支那書

書多抄

上巻三冊
下巻三冊

右「西洋天文書と道」

中「三上義夫氏の伝」

現「三上氏の著書」

抄「大田南畝の日記」

珍中の珍

谷本東山

三六活法 十巻九冊

大平厚六活法の中

書及三年「三」

上本

六「小世人の足跡」

新「新」

血月子觸れ

支那書

大正六年六月一日

石野のタラシキニ出立アリ

あはれ三年ニ一ニ五ニ

六ニ六廿人のあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

あはれあはれあはれ

満吉丸

青方本向を何
月心強大より多分新見
あはれあはれあはれ